

ⅩⅢ. 下水道事業について（問 36～問 38）

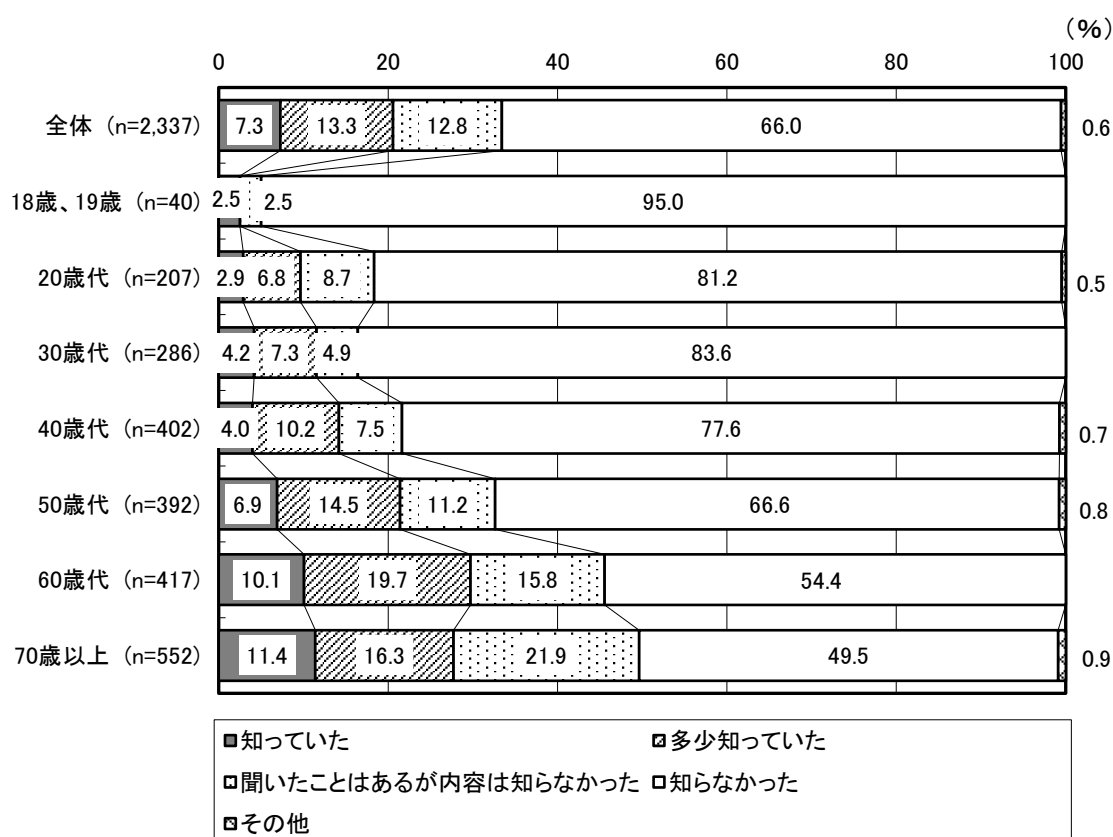
【問 36】豊橋市で、法定耐用年数を経過した下水管きよが急激に増加していることをご存知でしたか。（n=2,337）

（1）全体的傾向

「知っていた」と「多少知っていた」を合わせた「知っていた」と回答した人の割合が約 21%で、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」と「知らなかった」を合わせた「知らなかった」と回答した人の割合が約 79%となっている。

（2）年代別にみた特性

60歳代以上で、「知っていた」と「多少知っていた」を合わせた「知っていた」と回答した人の割合が約 28%～30%となっており、年代の高い方の「知っていた」と回答した人の割合が高くなっている。



【問 37】下水管きよの更新にあたり多額の費用が必要となりますが、どのように感じますか。(n=2,312)

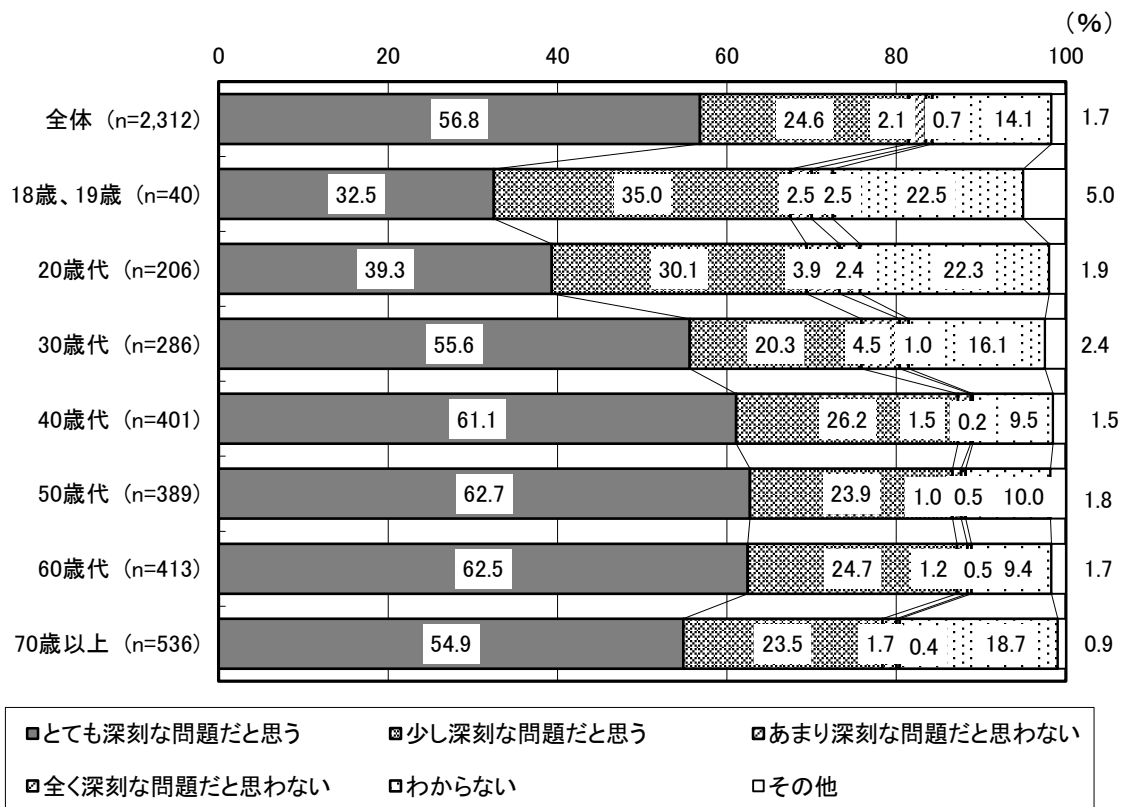
(1) 全体的傾向

「とても深刻な問題だと思う」と「少し深刻な問題だと思う」を合わせた「深刻な問題だと思う」と回答した人の割合が約 81%と最も高く、次いで「わからない」(約 14%)、「あまり深刻な問題だと思わない」と「全く深刻な問題だと思わない」を合わせた「深刻な問題だとは思わない」(約 3%)となっている。

(2) 年代別にみた特性

30歳以上で、「とても深刻な問題だと思う」と「少し深刻な問題だと思う」を合わせた「深刻な問題だと思う」と回答した人の割合が約 76~87%と高くなっている。

また、18歳、19歳と20歳代で、「わからない」と回答した人の割合が約 22~23%と、他の年代に比べ高くなっている。



【問 38】安定した下水道サービスを維持するためにどのように対応していくべきですか。(n=2,317)

(1) 全体的傾向

「料金(使用料)を若干値上げして、できる範囲で対策を進める」と回答した人の割合が約46%と最も高く、次いで「必要な分だけ料金(使用料)を値上げして着実に対策を進める」(約24%)、「わからない」(約19%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

各年代とも、「料金(使用料)を若干値上げして、できる範囲で対策を進める」と回答した人の割合が最も高く約38%~49%となっている。

また、各年代とも、「料金(使用料)は値上げせず、下水道サービスが低下してもやむを得ない」と回答した人の割合が約4%~6%と低くなっている。

